

総合的な学習の時間 探究：椿「地域貢献(平和)プロジェクト」 伝承・発信のためにできること

本単元で育成する資質・能力

課題発見力 他と関わる力 自ら行動する力

- ◇ 日 時 令和5年7月3日(水) 6校時
◇ 学年・組 第1学年 196名

単元について

◇単元観

本校では、総合的な学習の時間の3年間を通じた「本質的な問い」を「10年後も住みたい府中町であり続けるには」と設定し、地域に関わる学びを「探究・椿」、自らの生き方に関わる学びを「探究・志」として、10年後府中町に貢献できるようになるための学びを進めている。

第3学年の「探究:椿」では「住みたい町づくりプロジェクト」として10年後も住みたい府中町であり続けるために、中学生としてどのようなことができるか考え、実行する。それに向けて本単元では「地域貢献プロジェクト」として、小学校での学びを共有しながら府中町の課題を出し合い、その中から自分たちが取り組むべきテーマを見つけ、具体的な取り組み内容を考え、実行できるようになることを目指している。

「地域貢献プロジェクト」の本質的な問いを「安心・安全な街とはどのようなものだろうか」とし、課題を整理していく中で、「平和」と「防災」に絞り込み、両者を比較した際に平和でなければ何にも取り組めないというところから、まず平和に取り組むこととした。そしてその単元を貫く問いを「平和に暮らすにはどのようなことが必要だろうか」とした。これらの問いに対して、探究的な見方・考え方を働かせて、解が一つではない問いに対してPBLの手法を用いて生徒自身が学習過程を構成できる単元となっている。また、単元を通じてSDGsの視点を持ち考えさせる取り組みを行い、常に「持続可能な町づくり」という視点で生徒自身が学びを進めることによって、本校で設定している育成したい資質・能力の育成を図ることをねらいとしている。さらに、紙芝居プレゼンテーション(KP法)などについて学び、わかりやすいプレゼンテーションの基本的な技術を身につけられるよう単元を構成している。

◇生徒観

本学年の生徒は、素直で明るく決められたことについては熱心に取り組むことができる。しかし、仲間のためになにかをしようとか仲間とともに向上していこうという意識を持っている生徒が、まだ一部に限られている。3つの小学校からの入学ということもあり、まだお互いの距離感をどのように縮めていったらいいのか、様子を見ているようである。

そんな中でも、中学生になり新しい環境や仲間と中学校ならではの新しい学びに積極的に取り組んでいこうという生徒も少なからずみられる。

7月に行った学校評価アンケートでは、「総合的な学習の時間」で課題を立てて情報を集め、整理して、調べたことを発表するなどの探究する学習活動に取り組んでいます」という問いに対しての肯定的な評価をした生徒は、77.2%にとどまっている。

◇指導観

中学生になって初めての探究的な学習となる。そのため、PBLの手法を念頭に置き、「生徒が主体的に考えたり行動したりできるようにすること」「社会とのつながりを持たせること」「他の学びとの関連性を持たせること」の3点を重視する。

ジャムボードやKJ法などで生徒同士の対話が生まれる場面を多く設定し、その中から生徒自身が疑問を持ち自ら課題を設定できるよう、教師はファシリテートする。そこに解が一つではない問いを投げかけることによって、探究のきっかけとしたい。そこで自ら計画を立て、探究方法を考え自分ならではの解を見つけることができるよう、生徒同士での活動の時間を多く設定する。

課題設定の前に小学校での学びを共有する時間を設け、SDGsをはじめとする社会課題とどう結びつけるかというワークを行う。また、プレゼンテーションの基本を学び様々な場面で応用できるよう身につけさせる。そのうえで、府中町の歴史や文化など知っている事柄をさらに掘り下げるワークを全員で行う。そして課題設定を行うための基本的な知識を深く学び共有する場を設ける。それをもとに「10年後も住みたい府中町であり続けるには」何が必要かを考え、取り組むべき課題を絞り込ませていく。

テーマを「平和」に絞り込んだ後は、「平和に暮らすにはどのようなことが必要だろうか」という問いから「平和」に関する課題を出させていく。途中、被爆者の方から直接お話を伺ったり、ハワイからの留学生との交流会を行い、真珠湾攻撃についての意見交換を行うなどして、ヒロシマを外から見た視点も含めて様々な視点から「平和」にかかわる課題に気が付かせていく。

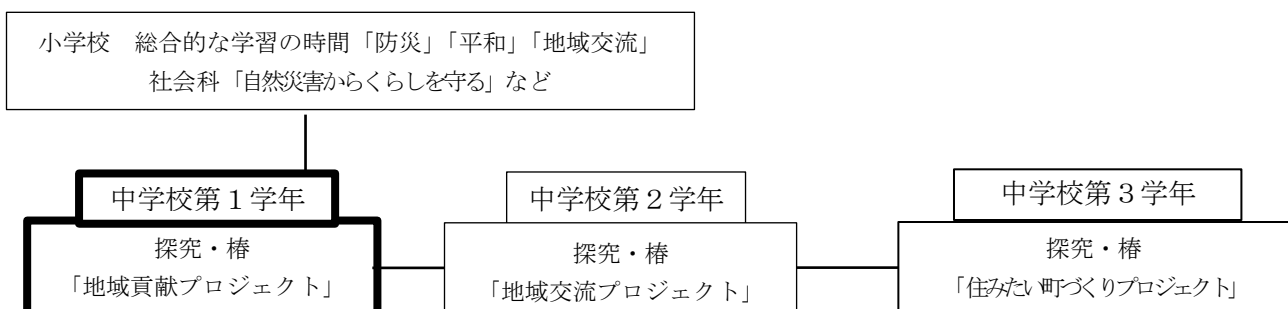
また、一昨年から行っている全校での平和登校日を8月9日とし、8月6日だけではなく広く「平和」について考えるきっかけを与える。この登校日では、1～3年生各2名ずつで構成した縦割りのグループで、生徒が設定したテーマをもとに討論会を行い、「平和」にかかわる社会課題を広い視野で考えさせたい。

本校では、学年全体の学びをまとめて方向性を決めて進めていく役割を担う「探究リーダー」を設けている。本学年でも年度当初に呼びかけ、自らやりたいという生徒が集まり、活動している。この「探究リーダー」が「平和」に関する課題を整理し、生徒は自分が取り組みたいテーマを選び、同じテーマを選んだ生徒でチームを編成し、協力しながら企画を進めていく。その際、ルーブリックをもとに本時において身につけたい資質能力を意識させ、チームごとに毎時間めあてを設定し振り返りを行い確認させる。

企画・立案においては、企画全体が見通せる企画書をチームごとに作成することで、見通しを持たせると同時に教師が動きを把握できるようにした。考えた企画を実践するための場を広島平和記念公園周辺とし、相手意識をもって実行することを意識させたい。様々な角度から考え準備した企画を平和公園で実行し、その内容を仲間と共有し改善点を見出させたい。

また、外国人への発信についても、やり取りの内容やその後のやり取りなどを教科とつなげ、教科での学びを生かすと同時に取り組んでいる課題が様々なものにつながっていることを意識させたい。そして、この単元での学びが「10年後も住みたい府中町であり続けるには」という3年間の問いにつなげられるよう設定している。

指導の系統



本時の学習（6時間目／全28時間）

◇本時の目標

10年後の府中町を見据えて、平和について発信、伝承するために自分たちができていることを考えることができる。

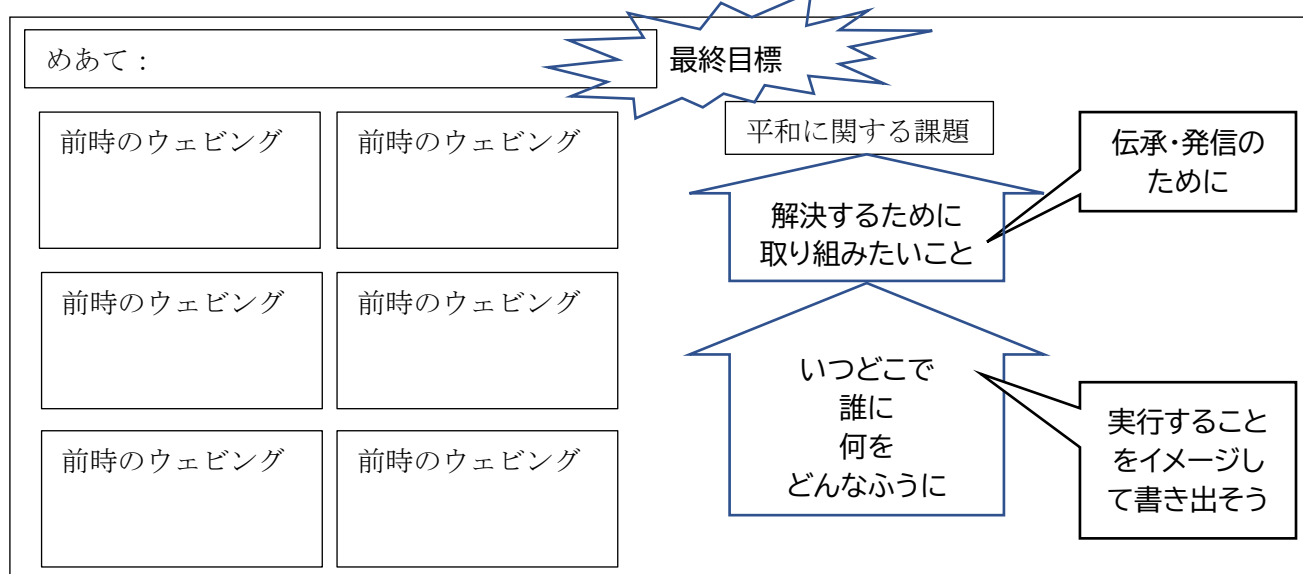
◇学習の流れ

学習活動	指導上の留意点 (◇) 予想される生徒の反応 (・)	評価規準 資質・能力 (評価方法)
1 前時の振り返りをする(2分)	<ul style="list-style-type: none"> ・「平和」の取り組みで知っていること、知らないことを出し合った。 ・自分が考えたことを書く。 ・「広島のことを知って欲しい」「伝えたい」という人がたくさんいた 	
2 めあてを確認する。(2分)	本時でめざす姿をループリックを使って生徒と一緒に確認する	
10年後の府中町を見据えて、平和について発信、伝承するために自分たちができていることは何か考えることができる		
	ピンクの紙にめあてを記入	
3 取り組むべきことを考える (1) 4人グループになる。 (2) 平和について知っていること、知らないことを振り返る。(3分) (3) 自分たちが取り組むべきことを考える。(20分) (4) アイディアを共有する。(10分) (5) フォームに自分が取り組まなければいけないこととその理由を記入する。(8分)	◇前時に取り組んだウェビングを参考にさせる。 ・グループで出したことをもとに、 最終的な目標 を決め、それを解決するための課題、いつ、誰に、何を、どんな風に活動するか、そして、そのために今何をするかワークシートに記入させる。 ・名前ペンで記入させる。 ・メモを取りながら、見て回る ◇「無理かな」と思うことでも書いてみるように言う。	ワークシート 活動を振り返り、クラスでの意見をもとに、課題を自分事としてとらえその理由を明確にし、「今自分は何をするか」を具体的に考えることができる。 自ら行動する力 (ワークシート)
4 振り返りをし、今後の活動の見通しを持つ。(5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組んだ内容をふまえて考えたことを書くように言う。 	

本時のルーブリック（関連する資質・能力）

	ウ) ACT: 自ら行動する力 自己決定する/より良い策を見つける (主体的に学習に取り組む態度)
S	・意見交換を振り返り、これまで学習したことやクラスでの意見をもとに、平和に関わる課題を自分事としてとらえその課題を解決するために、いつ、どこで誰に何をどんな風に行っていくか理由を明らかにし具体的に考えることができる。
A	・意見交換を振り返り、これまで学習したことやクラスでの意見をもとに、平和に関わる課題を見つけその課題を解決するために、いつ、どこで誰に何をどんな風に行っていくか具体的に考えることができる。
B	・意見交換を振り返り、平和に関わる課題を見つけその課題を解決するために、いつ、どこで誰に何をどんな風に行っていくか考えることができる。

板書計画



第1学年 総合的な学習の時間 単元構想図 (全28時間)
 地域貢献(平和)プロジェクト
 継・伝・広～伝承・発信のためにできること

単元目標

幸せな世界を実現するために何が考え、仲間とともに提案、実行できる。

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①被爆者が高齢となり、10年後にはほとんどおられなくなるため、被爆の実情を知るだけでは平和学習にはならないということを理解していると同時に原爆の被害の側面だけではなく、落とした側の考えなど様々な立場での意見があるということを理解している。 ②どのような課題があるかの情報の収集を適切な方法で行っている。 ③平和の実現には、被爆に関わり立場によってさまざまな考えがあることを知り、それを踏まえたうえで伝承・発信してきたことの成果であることと理解している。	①伝承・発信のために何をどのように取り組むか見通しをもって企画書を作成している。 ②自分たちのテーマについて伝承・発信するために必要な情報を様々な方法で集めている。 ③収集した情報の共通点や違いを見つけて整理し、自分たちの伝承・発信の内容に合う方法を決定し準備している。 ④被爆の実情や平和についての伝承・発信のために準備してきたことを相手に応じてわかりやすく効果的に表現している。	①被爆の実情や平和にかかわる課題について、自ら設定した課題の価値に気づき、自分の意思で探究的な活動に取り組もうとしている。 ②被爆の実情や平和について伝承・発信をしていくために、自他の考えを生かしながら協働して取り組もうとしている。 ③被爆の実情や平和についての伝承・発信のために自分に何ができるか考え、課題に取り組んだことや学んだことの中から伝えたいことを明確にして、わかりやすく発表しようとしている。

小単元のゴールに対するルーブリック

小単元のゴール		
被爆者が高齢となり被爆を体験した人が少なくなっている現状を知ると同時に原爆や平和に対して様々な考え方があり、被爆体験を聞くだけではなく伝承・発信していくために今自分たちがしなければならないことを考え、世界の人々が幸せになるために行動できるようにする。		
課題発見力	他と関わる力	自ら行動する力
S 被爆者が少なくなり、被爆の実情を知るだけでは平和学習にはならないということと原爆に対して様々な考え方があり、その背景を理解できる。	伝承・発信のために興味のあるテーマを決め、何をどのように取り組むか見通しをもって企画書を作成しながら様々な人とかわりながら取組を進めることができる。	伝承・発信のために興味を持ってもらえる方法を考え、相手の立場になって伝えたり、取り組んだことや学んだことの中から伝えたいことを明確にして、わかりやすく発表しこれからの課題を提案したりすることができる。
A 被爆者が少なくなり、被爆の実情を知るだけでは平和学習にはならないということと原爆に対して様々な考え方があり、その背景を理解できる。	伝承・発信のために興味のあるテーマを決め、何をどのように取り組むか見通しをもって企画書を作成し取組を進めることができる。	伝承・発信のために興味を持ってもらえる方法を考え、相手の立場になって伝えたり、取り組んだことや学んだことの中から伝えたいことを明確にして、わかりやすく発表したりすることができる。
B 被爆の実情を知るだけでは平和学習にはならないということを理解することができる。	伝承・発信のために興味のあるテーマを決め、取組を進めることができる。	伝承・発信のために伝えたいことを伝えたり、取り組んだことや学んだことを発表したりすることができる。

他教科等及びSDGsとの関連

〈国語科〉「話す・聞く」「書く」
 〈社会科〉「地域の歴史を調べよう」「国際社会の仕組み」「様々な国際問題」「これからの地球社会と日本」
 〈美術科〉「文字の基本」
 〈英語科〉「絵葉書を書く」
 〈SDGs〉




10年後も住みたい府中町とはどのような街だろうか

平和に暮らすにはどのようなことが必要だろうか。

4 平和な世界の実現のために何ができるか考えよう(5)

4-①私たちにできることは何だろうか (分析,まとめ,表現) 恩 行動観察・ワークシート

- ・新しく発見したこと、学んだことを整理しよう。
- ・世界の平和のために私たちは何をしなければいけないのだろう。
- ・たくさんの人に知ってもらうにはどうしたらいいかな。
- ・より持続可能な取り組みにするためには、どうしたらよいだろうか。
- ・実現するためにはどんな力が必要だろうか。

○発見したことをKP法でプレゼンしよう(体験)恩(1)ワークシート
 ・どんな言葉をキーワードにすればいいかな。
 ・どの順番で伝えればいいかな。

○海外からのお礼の手紙に返事を書こう(教科とのつながり:英語)恩
 ワークシート
 ・自分たちの思いがどれだけ伝わっているかな。
 ・どんな言葉で返事を書けばいいかな。

3-②伝承・発信してみよう。(平和公園で実行)(全体) 圭 行動観察・ワークシート

- ・もっとたくさんの人に話をしてみたいな。
- ・どこに行くと話を聞いてもらえるかな。
- ・どのように話しかけたら興味を持ってもらえるだろうか。

3 伝承・発信しよう(8)

3-①実現に向けて取り組もう。(全体) 圭 行動観察・ワークシート

- ・大きさや形はこれでいいだろうか。
- ・もっと別の情報を付け加えてみよう。
- ・練習してみよう。
- ・役割分担をしよう。
- ・誰かの意見を聞いてみたいな。

2-②伝承・発信に効果的な方法は何だろうか (情報収集)(個人→グループ) 恩 行動観察・ワークシート

- ・多くの人が共感してくれる内容とはどんなものだろう。
- ・うまく伝えるにはどうしたらよいだろうか。
- ・どんな方法が、心に残るのだろうか。
- ・外国人にはどうやって伝えればいいのだろう。

2 企画内容を考えよう(5)

2-①どのように進めれば、多くの人に伝承・発信できるだろうか (計画書作成)(グループ) 恩 行動観察・ワークシート

- ・どうやったら興味を持ってもらえるだろうか。
- ・誰に提案したらいいだろう。
- ・何を伝えたらよいのだろう。
- ・〇〇までに試作品を作ろう。

1 課題設定 (10)

1-②「平和に関わって、今私たちが取り組むべき課題は何だろうか (課題発見・情報収集) 知 圭 行動観察・ワークシート

- ・10年後、どんな風に暮らしていたいだろう。
- ・安心・安全に暮らすには何が必要だろうか
- ・被爆者の方はどんな願いを持っているのだろう。
- ・先輩たちの意見も聞いてみたいな。
- ・ハワイの人は真珠湾攻撃についてどう思っているのだろうか。
- ・他の国の人たちは原爆や戦争についてどう考えているのだろう。
- ・世界の人々が幸せになるために、私たちがしなければいけないことは何だろう。(本時6/10)

○小学校で学んだことをKP法でプレゼンしよう(体験)恩(1)ワークシート
 ・どんな言葉がインパクトがあるかな
 ・どの色を使って書けばいいかな
 ・レイアウトはどうすれば見えやすいかな。

○SDGs宣言をしよう(体験)恩(1)ワークシート
 ・平和に暮らすには、自分がSDGsの視点で行動すればよいのだろう。
 ・自分はSDGsの視点でどんなことができるだろう。
 ・どの色の使い方がわかりやすいかな

1-①小学校での学びを共有しよう。(情報収集・分析)

(個人→全体) 知 行動観察・ワークシート
 ・仲間が小学校で学んだことで自分が知らなかったことはないかな。
 ・SDGsとつなげてどんな課題があるかな。